

音楽科調査資料 作成の観点

書名	<div style="display: flex; justify-content: center; gap: 20px;"> ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ </div>	発行者番号 発行者名
項目		
内 容	<p> <知識及び技能が習得されるようにするための工夫> ○曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、表したい音楽表現をするために必要な技能を身に付ける上で、題材の設定、題材構成、教材の配置など、どのような工夫がされているか。 </p> <p> <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○音楽表現を工夫することや、音楽を味わって聴くことができるようにどのような工夫がされているか。 </p> <p> <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育むとともに、音楽に親しむ態度を養い、豊かな情操を培うためにどのような工夫がされているか。 </p> <p> <生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力を育成するための工夫> ○生活や社会の中の音や音楽の働きの視点や、音楽文化を継承、発展、創造していこうとする態度の育成のためにどのような工夫がされているか。 </p>	
資 料	<p>○学習意欲を高めたり、発想を広げたりするためにどのような工夫が見られるか。</p> <p>○挿絵・写真・図表等の資料のレイアウトにはどのような工夫が見られるか。</p>	
表記・表現	<p>○表現教材や鑑賞教材の譜例の使い方など、楽譜の提示方法にはどのような工夫が見られるか。</p> <p>○音符、休符、記号、音楽に関わる用語の取扱いにはどのような工夫が見られるか。</p>	
総 括	(全体的な特徴、その他)	

書名 項目	<h1>音楽のおくりもの</h1>	17 教 出
内 容	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○領域・分野ごとに系統的に題材が配列され、学習事項の確認ができるように見開きごとに「学習のめあて」や音楽を形づくっている要素「音楽のもと」が示されている。 ○歌唱では、音域や長さ、歌詞の内容が発達段階に適合するように教材が掲載されており、器楽では、写真等を用いて1音ずつ確実に学び進められるように工夫されている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「まなびナビ」や「学び合う音楽」で学び方の例や発問例など学習のプロセスが示され、児童に見通しをもたせたり思考させたりすることができるように工夫されている。 ○児童が「音楽のもと」の働きを意識し、音楽をとらえて魅力を感じ取ったり、思いや意図を生かして表現したりできるような教材の選択や扱いに配慮されている。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○1年間の学習の見通しをもつことができる「学習マップ」「学習の進め方」や1年間の学習を振り返ることができる『「音楽のもと」まとめ』が設けられ、児童が主体的に学習に臨むことができるように工夫されている。 ○児童が音楽科の学習で得た音楽経験や知識を、学校生活や家庭、地域社会での生活に生かすことができるように、生活の中にある様々な音や音楽への関心を促す教材や特集が掲載されている。 <p><生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「音のスケッチ」などで思いや意図を生かして音楽をつくることができるように、文字やイラスト、活動例が掲載され、児童の考えを引き出すように工夫されている。 ○我が国の伝統的な楽器や民謡、諸外国の音楽などの多様な曲種の鑑賞や表現を通して、生活と音楽との関わりについて考え、多様な文化に触れることができるように配慮されている。 	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○教材に合わせた写真（折込を使ったワイド紙面）や学習内容に沿った図やイラストが使用され、視覚的に理解しやすいように工夫されている。 ○QRコード（まなびリンク）が示され、学習に対応した資料がWEB上に用意されており、主体的に学べるように工夫されている。 ○全校で楽しめる合唱曲や、教科横断的な扱いができるような教材「ショートタイムラーニング」などが、全学年に配置されている。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○児童の発達の段階に応じて楽譜や文字の大きさが配慮されている。 ○線や図形などを楽譜に見立てて表現できるような資料が掲載されている。 ○音符や休符、記号などは、各教材の別枠に示されているほか、巻末にも掲載されている。 	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> ○歌唱共通教材は、歌詞から想像される季節感や情景を重視した扱いができるように「にっぽんのうた みんなのうた」として配置され、写真、資料からも曲の背景を知る手掛かりとなるように工夫されている。 ○紙面編集全体に、特別支援教育の視点に立った配慮や、色覚特性をもった児童へ配慮されている。著作者の創造性を尊重する視点から、名前に振り仮名が加えられている。 	

書名 項目	<h1>小学生の音楽</h1>	27 教 芸
内 容	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○領域・分野ごとに系統的に題材が配列されており、学習事項の確認ができるように見開きごとに「題材のねらい」や、音楽を形づくっている要素が示されている。 ○歌唱では、交互唱から段階を踏んで合唱へと無理なく学習できる構成となっており、器楽では、音あそび等、多様で効果的な学習ができるように工夫されている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「考える」「見つける」「歌う、演奏する、つくる」のアイコンが示され、児童が思いや意図をもって表現や鑑賞の学習を進められるように工夫されている。 ○児童の作品例などが示され、児童が表現に対して思いや意図をもったり、音楽や演奏のよさを味わいながら聴いたりすることができるように配慮されている。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○1年間の学習の見通しをもつことができる「学習マップ」や、1年間の学習を振り返ることができる「ふり返りのページ」が設けられ、児童が主体的に学習に臨むことができるように工夫されている。 ○児童が音楽科の学習で得た音楽経験や知識を、学校生活や家庭、地域社会での生活に生かすことができるように、生活の中にある様々な音や音楽への関心を促す教材や特集が掲載されている。 <p><生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「音楽づくり」で思いや意図をもって表現できるように、学習の手順や工夫の視点がアイコンや吹き出しなどで示され、児童の考えを引き出すように工夫されている。 ○体験型の鑑賞学習や調べ学習のための資料が掲載されており、我が国や諸外国の音楽の表現や鑑賞の活動を通して、多様な文化に触れることができるように配慮されている。 	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○学習活動のポイントが色の濃淡やイラスト、写真（撮影場所を明記）により区別・説明されているため、視覚的に理解しやすいように工夫されている。 ○QRコード（ムーブの部屋）を読み取ることによって、音源や資料を活用でき、個別最適な学びをサポートできるように工夫されている。 ○鑑賞教材で扱われる楽器や演奏法、コラムなどが見開きで示され、学習する際の手立てとなるように工夫されている。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○児童の発達の段階に応じて楽譜や文字の大きさが配慮されている。 ○線や図形などを楽譜に見立てて表現できるような資料が掲載されている。 ○音符や休符、記号などは、「がくふマスター」に示されている外、巻末にも掲載されている。 	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> ○古くから伝わる風習や風景などが歌われる歌唱共通教材は、「こころのうた」として配置され、歌詞や曲が生まれた背景が示され、生活や社会との関わりを捉えやすくなるように工夫されている。 ○紙面編集全体に、特別支援教育の視点に立った配慮や、色覚特性をもった児童へ配慮されている。歌詞の内容や写真には、道徳教育や人権教育に対して配慮されている。 	

音楽科 調査資料 2

○分量について

内容	学年	教出	教芸
1 総ページ数 ※ 目録に記載されたページ数	1年	82	82
	2年	82	82
	3年	86	86
	4年	88	86
	5年	88	86
	6年	88	86
2 挿絵、写真、イラストの数 ※一定のまとまりをもって一つとカウントする	1年	147	181
	2年	133	180
	3年	137	184
	4年	149	185
	5年	102	157
	6年	97	142
3 QRコードの数 ※ 目次と裏表紙も含む	1年	12	30
	2年	15	34
	3年	21	34
	4年	22	36
	5年	23	35
	6年	15	32

○学習活動別教材数について

内容	学年	教出	教芸
1 歌唱の教材数 (うち楽譜のない教材数) ※ 2と重複しているものもある	1年	40 (14)	30 (13)
	2年	34 (3)	33 (6)
	3年	28	22 (2)
	4年	29	24 (2)
	5年	29	21
	6年	26	21
2 器楽の教材数 (うち楽譜のない教材数) ※ 1と重複しているものもある	1年	8 (1)	13 (2)
	2年	9	12
	3年	19	16
	4年	11	13
	5年	11	8
	6年	12	8
3 音楽づくりの教材数	1年	7	4
	2年	7	4
	3年	7	3
	4年	5	3
	5年	3	2
	6年	3	2
4 その他の表現の教材数	1年	7	4
	2年	3	3
	3年	4	1
	4年	1	1
	5年	1	0
	6年	1	0
5 鑑賞の教材数	1年	13	12
	2年	16	15
	3年	18	20
	4年	42	20
	5年	61	21
	6年	15	17

内容	学年	教出	教芸
6 表現と鑑賞の活動の関連を図った教材数 ※ 1～5と重複してカウントする	1年	8	5
	2年	11	10
	3年	4	4
	4年	7	7
	5年	5	4
	6年	5	6
7 歌唱、器楽、音楽づくりの活動の関連を図った教材数 ※ 1～6と重複してカウントする	1年	8	4
	2年	7	1
	3年	5	5
	4年	4	4
	5年	1	6
	6年	2	3

○その他

内容	学年	教出	教芸
1 我が国の音楽（表現・鑑賞）の教材（題材）数 ※ 民謡等紹介は題材数①としてカウントする ※ 外国曲の編曲は除く ※ 前項の教材数と重複してカウントする	1年	13	11
	2年	12	13
	3年	10	9
	4年	13	11
	5年	19	14
	6年	10	13
2 音符、休符、記号、音楽にかかわる用語の解説の数 ※音楽にかかわる用語は絵や写真による楽器の紹介を含む ※ページ単位でカウントする ※教育出版の右端縦で表示されている新出の記号等や教育芸術社の「がくふマスター」を含む ※特集ページは含めない	1年	9	8
	2年	7	9
	3年	11	16
	4年	15	19
	5年	17	15
	6年	6	10